

令和2年度

「運営に関する計画」
(教科指導)

大阪市立新北野中学校

《国 語》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【区分：わかる・楽しい授業づくりの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 作文や文章記述問題に対する苦手意識を除くために、各単元で作文または視写を行い、書き方の類型化を習得させる指導を行う。 指標 <ul style="list-style-type: none"> 作文指導の回数を各学期で行い、書くことに対して苦手意識をもつ生徒の割合を減らす。 	
取組内容②【区分：言語力や論理的思考能力の育成】 <ul style="list-style-type: none"> 授業の初めに漢字レッスンや漢字プリントなどに取り組ませることで、言語力の基礎となる漢字の読み書きの力を定着させ、語彙を増やす。 授業の最初や朝学を利用して、視写や語句・漢字練習のプリントなどに取り組ませることで語彙を増やす。 指標 <ul style="list-style-type: none"> 漢字・語句の小テストを各学年 10 回以上は行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

《社会》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		達成状況
取組内容①【区分：わかる・楽しい授業づくりの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢に興味を持たせる。 ・新聞・インターネットなどを活用し、日常生活と関連した内容を取り扱い興味関心を高める 		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT・アクティブラーニング等を学期に1回程度実施。 ・3年生で税の作文を課題として行う。 ・3年生では最新の時事問題などを単元ごとに1回以上提示する。 		
取組内容②【区分：家庭学習の習慣化、自主学習の確立】 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒が意欲的に取り組める課題を工夫する。 ・日頃より家庭での復習を促す教材（プリント等）作りを行う。 ・長期休業中に、自らの興味・関心についての調べ学習を行う課題を出す。 		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業明けの宿題提出率を80%以上にする。 		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

《数学》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		達成状況	
取組内容①【区分：わかる・楽しい授業づくりの工夫】 ・習熟度別・少人数授業などの授業形態の工夫、教材や教具の工夫により、「わかる・楽しい授業」の実践に努める。 ・全学年を通じて、テストや授業観察などを通して評価し、個々の学習理解の状況を分析し、授業に生かす。	指標 ・習熟度別・少人数授業を各学年10回以上行う。		
取組内容②【区分：学力向上に向けた取り組み】 ・補充学習、テスト前や長期休業中の学習会において、子どもたちの学習活動を支援し、結果に結びつける。			
指標 ・各学年のチャレンジテストにおいて、大阪府の平均点以上をとる。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
次年度への改善点			

《理 科》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		達成状況
取組内容①【区分：わかる・楽しい授業づくりの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・「わかることが楽しい」となるように、学習内容の基礎的・基本的な知識を定着させる。 ・板書や作成プリントを、工夫や視聴覚機器（動画、書画カメラなど）を活用して、学習内容の理解を深めるようにする。 ・学習で獲得した知識・技能が、日常生活で生かされるように、教科書の内容と身の回りにあるモノを重ねることを意識して学習指導を行う。 		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに、学習目標を小さく分け（スマールステップ）、小テストや課題テストを用いて、基礎的、基本的事項の定着をはかる。 ・教科書に掲載されている実験を、演示実験をふくめ80%以上実施していく。 ・ノートや課題プリントの提出物の回収率を78%にする。 		
取組内容②【区分：言語力や論理的思考能力の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・実験結果からわかったことを、授業や教科書を参考にして、論理的にまとめる力につける。 ・定期的に授業（実験をふくむ）の中で、話し合い活動や発表活動を取り入れてみる。 		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・実験において、実験レポートの結果・考察・感想をしっかり書くように指導する。 ・未提出、C評価の生徒を18%以下にする。 		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

《音 楽》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		達成状況
取組内容①【区分： わかる・楽しい授業づくりの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 合唱を中心とした活動を通して、クラスの仲間と一緒に歌い、表現する喜びを知り、響きあうハーモニーを感じ取りやすい楽曲の精選を行う。 プリント学習なども取り入れ、学習意欲が高まる雰囲気作りを工夫する。 リーダーの育成を重視し、グループ発表や合唱練習の際にリーダーシップを発揮して、グループやクラスをまとめていけるように手助けをする。 <p>生徒が自主的に取り組めるような下地作りをする。</p>		
指標 <ul style="list-style-type: none"> プリントの提出率を80%以上にする。 グループやパートごとに、どんな取り組みができたかを評価できるような振り返りシートを作成し、取り組みごとに振り返りシートを行う。 		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

《美術》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		達成状況
取組内容①【区分：わかる・楽しい授業づくりの工夫】		
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が目標を持ち、達成感を味わえる教材を設定する。 ・個別指導を充実させ、完成度の高い作品を作成させる。 ・特に第1学年では、美術の基礎的な能力を育成し、自らの表現に生かすことができるよう題材や指導方法を工夫する。 		
指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・作品の完成提出率を8割以上にする。 ・忘れ物をする生徒の数を各学級5名以下にする。 ・個別指導の充実・完成度を高めるため、作品制作のポイントごとに個別に指導する時間を確保する。 		
取組内容②【区分：言語力や論理的思考能力の育成】		
<ul style="list-style-type: none"> ・作品作りを通して、制作の意図や考えを説明したり、鑑賞の授業を通して作品から感じ取ったことを伝えることができるようするため、制作の振り返りプリントを活用し、作品のよさを味わい、思ったこと・考えたことを書く活動を取り入れる。 		
指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りプリントは各学年とも作品が完成するごとに1回作成する。 ・鑑賞の授業は、お互いの作品の鑑賞も含め、各学年で年間に1回以上実施する。 		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

《保健体育》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		達成状況
取組内容①【区分：わかる、楽しい授業づくりの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 授業規律を図り、生徒たちが自主的かつ自律的に授業に参加できる態度を育成する。 安全の確保に留意するとともに、スポーツを楽しむことができる環境の整備を図る。 新体力テストの結果から本校生徒の体力・運動能力の状況を把握・分析する。 また、その成果と課題を検証し、その改善を図る。 		
指標 <ul style="list-style-type: none"> 全てのカリキュラムにおいて学習カードを作成し、その活用（提出）等を90%以上にする。 教科会において、指導内容を整理し、明確に示して体系化を図る。また、使用器具の点検や必要物品の確認を行う。体育施設（グランド倉庫・プール更衣室・体育館倉庫）の整理・整頓・清掃を徹底する。 昨年度の全国体力・運動能力テスト全種目で、昨年度より数値を改善する。 		
取組内容②【区分：区分：言語力や論理的思考能力の育成】 <ul style="list-style-type: none"> 体育委員中心にグループ学習を実戦し、集団的活動でお互いに励まし、仲間を称えたりして、協力して学び合う事のできる授業を取り入れる。 資料を基に練習方法や作戦を考えて、教え合いその成果や課題について話し合ったり、学習カード等にまとめたりする活動を取り入れる。 各領域でICT機器の活用（タブレット）を図る。 保健領域では、健康に関わる概念や原則を基に、身近な生活との関連を見つけたりするなどの活動を取り入れる。 		
指標 <ul style="list-style-type: none"> 体育委員や班長が主体的に活躍できる場を提供する。 模範（映像）や他者との比較から改善方法を伝え合う場を2回以上行う。 保健ノート、ワークシートの活用（提出）等を90%以上にする。 		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

《技術・家庭科》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【区分：わかる・楽しい授業づくりの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な基本的な技術や知識を習得させる。 ・授業で学習した内容が、普段や将来の生活で生かせるようにする。 ・体験を通して材料の特徴を理解し、構造のしくみや工夫を模型や実物を実際に触って見て、感じて理解することで、よりわかる楽しさを味わい、理解する力を養う授業づくりを行う。 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの技術を学びながら作品作りをしていくなど、1.2年で技術・家庭ともに10時間以上・3年で5時間以上の実習を行う。 ・3年生の家庭科の実習は幼稚園と連携した保育実習、調理実習を行う。事前学習も含めて計8時間行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

《英 語》

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【区分： わかる・楽しい授業づくりの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着をすすめることで、「わかる」という達成感を感じるよう、宿題や教材の工夫に努める。小テストで基礎的・基本的事項の定着に状況の確認事項を行う。 「わかる」ことが「楽しい」につながり、英語を使って表現したいという姿勢が育つよう、ICT教材の活用やC-NETとの授業を工夫する。 習熟度別少人数授業で、よりきめ細かな指導に努める。 もっと学びたいという自学自習の姿勢を育てる。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 校内での5級・4級・3級・準2級・2級の英検の実施を年3回行う。 	
取組内容②【区分： 小中一貫した教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 小学校での専科指導教員、C-NETが校区3小学校で均一化された授業を行うことによって、小学校から中学校への英語学習の移行をよりスムーズに行えるようにする。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 専科指導教員、C-NETが校区3小学校で週1回以上授業を行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容①】	
【取組内容②】	
次年度への改善点	